



2020年7月1日

各 位

本社所在地 東京都渋谷区代々木3-25-3
会社名 **レカム株式会社**
代表者名 代表取締役社長 伊藤 秀博
(コード番号: 3323 東証 JASDAQ S)
問合せ先 取締役執行役員CFO
兼財務本部長
砥 綿 正 博
(TEL: 03-4405-4566)
(URL: <http://www.recomm.co.jp>)

(開示事項の経過) 連結子会社における中国でのウイルス除菌装置の自社ブランド展開
に関するお知らせ

当社は、2020年6月12日に開示いたしました「ReSPR TECHNOLOGIES INC. との DISTRIBUTION AGREEMENT (販売契約) 締結に関するお知らせ」に関連して、本日開催の取締役会において、当社の海外子会社であるレカムビジネスソリューションズ(大連) 株式会社(本社: 中国大連市、董事長伊藤 秀博、以下「大連レカム社」といいます。)が中国市場向けにウイルス除菌装置を自社ブランドで展開することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 自社ブランドによる販売開始の背景

当社は、上記開示資料のとおり、ウイルス除菌装置「ReSPR」の海外7か国の独占販売権を取得しましたが、中国市場における販売展開を検討する中で、マーケット戦略上、日本企業の商品ブランドで展開する方が有効との判断に至りました。このため、ReSPR TECHNOLOGIES INC. と協議を行い、中国新三板上場企業である大連レカム社がウイルス除菌装置「ReSPR」を自社ブランド名「RePure」(レピュア)として販売していくことにいたしました。ReSPR TECHNOLOGIES INC. が有する異種光触媒(※注)技術による除菌・消臭性能に関する商品力と日本ブランドの訴求により、中国市場での販売拡大を目指します。

※注: 「異種光触媒技術」とは、空気中の水分から低濃度過酸化水素ガス及びスーパーオキシド、ヒドロキシラジカル、微量オゾン等を同時に発生させる技術です。

2. 中国での販売展開

博報堂生活総研(上海)が2020年5月に実施し、6月22日に公表した「アフターコロナの中国生活者の意識・行動変化調査」において、中国生活者の多くは感染の第2波に対する警戒心を強く抱いており、防衛と将来の備えを重視することに注力し、消費意識や行動も消極的で慎重になっている

るという調査結果となっております。こうしたことから、中国においては、法人のみならず、個人においても除菌・消臭商材の膨大な潜在マーケットがあると判断しております。当社では、代理店やインターネットでの販売網を構築するとともに、「RePure」ブランドによるブランド展開と併せて、企業向けと個人向けの両市場を対象に拡販してまいります。

3. 業績等に与える影響について

2020年5月29日に公表いたしました2020年9月期連結業績予想には織り込んでおりません。2020年9月期連結業績に与える影響については現在のところ軽微であると考えております。また、2020年9月期以降の当社グループ連結業績に与える影響については、現在精査中であり、改めて開示の必要が生じた場合は速やかに開示いたします。

以上